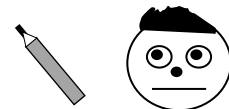


# ことばのテーブル データ教材 第3集

## 線の練習ワーク I

ことばのテーブル データ教材第3集「線の練習ワーク I」をお買い上げいただき、ありがとうございます。  
この教材は、線の認識と描出を練習するための教材です。10種の課題を通して、線を理解する力と描く力を育てます。また、線は描く人の心の表れでもあります。このワークでは、注意力や判断力、自己意識、情緒の安定など、心を育てることも目的としています。



### ●練習に当たり、用意していただくもの

#### ①課題の練習用紙

データDVD収録のPDFファイルを開き、練習用紙を1枚、印刷します。【注意】用紙は、B5のページサイズで作成されています。プリンターで印刷する場合、印刷画面で、「PDFのページサイズに合わせて用紙を選択」のタグにチェックを入れていただくと、B5サイズで印刷されます。

チェック例:  PDFのページサイズに合わせて用紙を選択

ただし、子どもの描線能力や注意力などに応じて、A4サイズなどに拡大印刷して実施することも可能です。とくに、『よけてゴールしよう』や『絵に合わせて形を描こう』などの課題では、細かな線の描出を求められるため、A4サイズの用紙の方が取り組みやすいかもしれません。

#### ②クリアファイル・ホワイトボード用のペン

印刷した紙に、鉛筆で線を描くこともできますが、その場合、同じ用紙での繰り返し練習はできません。ことばのテーブルでは、A4サイズのクリアファイルに練習用紙を入れ、ホワイトボード用のペンで練習しています。このやり方だと、1枚の用紙で何度でも練習することができます。また描線に失敗しても、すぐにティッシュなどで拭き消してやり直すことができます。便利です。(DVD内に「クリアファイルによる学習方法」という説明映像が収録されています。そちらもご参照ください)

【線の練習ワークを行うために必要な能力】\*課題全般について練習開始時に求められる能力を記載しています。

### ●描線能力について

描線の基本となるタテ線・ヨコ線の描線がスタートラインとして必要です。もし、タテ/ヨコ線の描出が達成されていない場合は、より基本的な線の練習課題を行う必要があります。(詳しくは、DVD内収録の教材関連資料:第15回学習会「線を考える」をご参照ください)

### ●各課題の規則の理解 \*代表的なものを2つあげました

①見本合わせ規則(『絵に合わせて形を描こう』課題 他)

・記号対応(例:絵と図形)規則の理解が求められます。

※課題規則については、ワークへの取り組みを通して、その習得を図る目的もあります。

②マッチング規則(『同じものをつなごう』課題 他)

・同図形や同事物(絵)のマッチングの理解が求められます。

※描線能力については、各課題で、開始時に求められる能力や達成目標となる能力が異なります。

※課題規則については、ことばによる指示理解が不完全でも、例示(デモンストレーション)を繰り返すことによって、課題理解が得られることが多いと思います。

### 【課題の難易度】

○10の課題は、異なる内容のものなので、課題間での実施順序はありません。

○各課題は、おおむね後半になるほど難易度が高くなっています。番号順に進めていただければと思います。

### 【この教材の目的】

- ①線の認識能力の向上 : 線の連続や傾き、変化の予測、図形認識など、線の基本的な認識力を育てます。
- ②描線能力の向上 : 線の認識を基盤として、さまざまな線の描出を練習します。
- ③注意・判断能力の向上 : 課題を通して、視覚的な注意力と、判断の力を育てます。
- ④自己意識の育成 : 意識的な線の方向変更などの練習を通して、自分への気づきを促します。
- ⑤情緒の安定 : 課題達成に必要な、抑制された情緒の形成を促します。